

ホウリの 自治基本条例メモ



第30話

お問い合わせ
政策調整課（米原庁舎）
☎52-6626 ⑤52-5195

市の職員は、みんなのために、安心して住めるまちを作ることが仕事なんだよ。



災害のときには、市の職員さんはすぐに仕事に行かなくちゃいけないって聞いたわ。



②

お父さんが「同じ自治会に市の職員さんがいると、いろんな場面で助かる」って言うってたわ。



この間、学校の授業で、米原市のことを教えてもらったよ。



①

米原市のみんなが得意なことをいかにせる、そんなまちになればいいなあ。



そうよね！お互いの得意なことを持ち寄って、足りないことを補い合えば、もっとまちづくりが進んでいくわ。



④

これをまなしく『協働』だね。

③

でも、職員さんだけでなく、みんなが得意なことを持ち寄れば、もっとまなしくいんじゃないかな？



自治基本条例では、市の職員がまちづくりのために果たす責務について定めているんだ。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

米原市登録ボランティア デイサービスグループ 「スマイル」

- 会員 68人
- 連絡先 代表 川部 静世さん
☎55-3933
(ボランティアセンター三島荘)
- 活動日 月～土の午前中
- 活動場所 地域福祉センターゆめホール
西部デイサービスセンターきらめき

デイサービスグループ「スマイル」では、デイサービスセンターの「ゆめホール」と「きらめき」で、デイサービス利用者のお話を聞いたり、入浴後の髪を乾かしたり、お茶を出すといったボランティア活動をされています。ゆめホールのデイサービスルームにおじゃましたところ、ピンクのエプロンをつけ、職員の方と一緒に熱心に利用者のお手伝いをされているメンバーの姿がありました。

この会は、旧米原町の社会福祉協議会のボランティアグループとして始まりました。83歳になられるメンバーの西村てる子さんは、退職と同時に「自分の進む道はこれだ」と思って活動を始められたそうで、今では生きがい・元気の源になっているとのこと。

代表の川部さんは「利用者みなさんに、良かった、幸せと言ってもらえるのが一番うれしい。活動を通じて同じ志を持つ仲間の輪が広がっていくのもやりがいがある」とおっしゃっていました。

お二人とも「毎日が勉強」という前向きな気持ちを持たれていることが、長年活動を続けてこられた秘訣であると感じました。メンバーは随時募集中で、月1回からでも気軽に参加できるということです。関心のある方はぜひご参加ください。



掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ⑤52-5195